

茨城県内市町村が実施する洪水からの避難訓練について

市町村名	河内町
訓練名称	総合防災訓練
訓練実施日時	令和5年11月19日(日) 8時30分～12時00分
訓練実施場所	○災害対策本部：河内町役場 ○避難所：農業者トレーニングセンター・中央公民館
実施した訓練の概要	<p>(1) 初動対応 身を守る安全行動の呼びかけを防災行政無線で情報伝達した。</p> <p>(2) 安否確認訓練 ①住民による隣近所への声掛け実施した。 ②町福祉部による町内巡回を実施した。</p> <p>(3) 災害対策本部設置訓練 防災対策の中核として災害情報を一元的に把握し、共有する体制の強化を図り、迅速かつ適切な災害対応訓練を実施した。</p> <p>(4) 災害情報収集・伝達訓練 ①住民に対する避難情報発信訓練 防災行政無線を活用して町民に避難情報を発信した。 ②自主防災組織等による避難呼び掛け訓練 町自主防災組織は町災害対策本部からの避難情報の発令を受け、避難所への避難を促すための呼び掛けを実施し、避難の誘導を行った。 ③消防団は、災害情報収集を兼ねて管内住民へ避難所開設状況等の広報活動を実施すると共に、町災害対策本部と災害状況の共有を行った。</p> <p>(5) 要支援者安否確認訓練 民生委員による要支援者へ電話または訪問等により被害状況を確認し、要支援者への連絡等の体制を確認する。また、被害状況を町福祉部に報告した。</p> <p>(6) 避難所開設・運営訓練 避難所への物資搬送、間仕切りテント等の設置、レイアウト確認及び受付の確認を実施した。</p> <p>(7) 住民避難訓練 防災行政無線や河内町公式ホームページを用いて、避難所の開設状況を確認し、避難を実施する。今回は、農業者トレーニングセンターへ開設される避難所への避難を実施する。開設された避難所での受付、避難スペースの体験までを行った。</p> <p>(8) 防災体験 ①避難所備品組立体験避難所備品組立体験 河内町防災士連絡会による避難所内に避難所備品の組み立て避難所内に避難所備品の組み立ての体験ブースを設け、訓練参加者へ防災意識の啓発を図った。</p>

	<p>②バケツリレー訓練バケツリレー訓練 自主防災組織、児童生徒等（10名程度1組） 操法用水槽からポリバケツへ一定の水をため、火点操法用水槽からポリバケツへ一定の水をため、火点の標的を倒す訓練を実施した。</p> <p>③A E D取扱い訓練 A E Dの取扱い講習や三角巾を使用した応急手当方法の実演を実施した。</p> <p>④消火訓練消火訓練 水消火器を使用した訓練を実施した。</p> <p>⑤煙体験煙体験 テント内に煙を充満させ火災時の視認状態を疑似体験した。</p> <p>⑥防災広場防災広場 自衛隊、警察署、警察署、東京電力、N T T等の協力もとの協力もとの各啓発ブースを設け、災害時各啓発ブースを設け、災害時に使用される機材等の展示や体験を実施に使用される機材等の展示や体験を実施した。</p> <p>(9) 救助訓練等</p> <p>①稲敷広域消防本部稲敷広域消防本部高度救助隊による救助訓練の実演 材木の下敷きになった人に見立てたダミー人形を救助した。</p> <p>②自主防災組織自主防災組織による救助訓練による救助訓練 材木の下敷きになった人に見立てたダミー人形の救助を高度救助隊の指導を受け訓練を実施した。</p> <p>③防災航空隊による被害状況調査 茨城県防災ヘリコプターにより上空からの本部長等の被害状況調査を実施した。</p> <p>(10) ボランティアセンター開設訓練 災害後に実施される災害後に実施される社会福祉協議会によるボランティアセンターの開設や受付の訓練を実施した。</p>
参加者数	約410人（住民300人(自主防災組織含む)、職員80人、関係団体30人）

写真



【災害対策本部の様子】



【避難所開設の様子】



【バケツリレー訓練の様子】



【防災航空隊防災ヘリコプターとの記念写真】